

## 伊方原発プルサーマルに係わる特別委員会の設置についてひとこと

### プルサーマルとは…

使用済み燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜて加工したMOX燃料(ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料)を、現在の原子力発電所(軽水炉=サーマルリアクター)で利用する事、である。その、プルトニウムの「プル」とサーマルリアクターの「サーマル」を取って作られた言葉です。

八幡浜市議会にプルサーマル特別委員会が設置されました。これは、「説明は分かりやすいけど中身はよく分からない」「本当に安全なのか分からない」「今の原発のままで十分なのは」そんな市民の声を反映しています。

実際、使用済みMOX燃料の放射能減衰に関するグラフを見ても、横軸は10年、10の二乗年、10の三乗年とあるから、10年、100年、1000年となるわけです。

そんな、子供や孫の世代にも係わってくる問題はより慎重に対応していくべきではないでしょうか、特に急ぐ必要はないのではないのでしょうか、失敗は絶対許されない問題ですから！これから早急に市民の皆さんが分かりやすい情報、説明を提供できるような特別委員会を目指していきたいと思っています。

誰でも、ふるさとは安全なところであって欲しいと願うものですから。

## 全国若手市議の会 総会 松山大会迫る

全国若手市議の会という組織があります。これは、初当選が40歳未満で45歳以下の議員という資格が必要です。20代30代のメンバーが大半を占めるだけに意見のぶつかり合いも激しく、時折議論が白熱して時間オーバーになってしまうこともあります。

これも皆が、志をもって臨んでいる証だと思います。

お互いが刺激しあい切磋琢磨し、自分を磨けるいい機会だと認識し私も会員になっています。

その組織の中に、四国若手市議・町議の会があり、四国地区会長を任されている次第です。

今回7月24・25日の両日松山市において全国若手市議の会総会が開催される運びとなり、現在準備中であります。

全国から集まってくる若き「つわものども」がどんな考えや意見を持参してくるのか今から楽しみです…



■四国若手市議・町議の会のメンバーと共に…。

## 編集後記

■第18回ワールドカップドイツ大会が開催されています。日本チームも、万全の体制で一時予選に臨んだわけですが、世界レベルの壁の前に、二敗一分けという結果を出すのが精一杯でした。

■日本人として、もっともっと活躍を期待しジーコジャパンの結果に対して不満を抱いている人も多いかもしれません。しかし、日本にとってワールドカップに出られるようになったのもこれで3回目です。1930年から始まった歴史ある大会のごく最近です。

■今、世間では「国家の品格」がベストセラーになっています。その作家の、藤原正彦さんが著書で述べられている言葉で、自然が美しいところに、天才は生まれる。というのがあります。これは、美しい自然を守り続けることのできる人達こそが真の教育もできるという証ではないかと考えます。

■世界レベルのサッカーを育てていくのも、人間を育てていくのも一朝一夕ではできないものです。それこそ、長年にわたって美しいと賞賛され続ける大自然のごとく、大切に係わっていかねばならないのだと思います。

過去は変えることができないのです、未来を変えていくためにも今現在を、大切にしていきたいものです。